

4 外張り断熱工法

4-7 横胴縁仕様 各部の規定

3) 胴縁

① 材質・寸法

木胴縁の厚み、樹種は次の例を参考にしてください。

スギ材を用いる場合には厚み18mm以上、ベイツガ材を用いる場合には厚み15mm以上の乾燥材を使用してください。これら以外の胴縁下地組みについては、最寄りの弊社営業所またはお客さま相談室までお問い合わせください。

＜木胴縁の幅＞

金具施工：補助桟部に留め付ける胴縁は90mm幅

断熱材部に留め付ける胴縁は45mm幅

釘打ち施工：45mm幅

※標準施工上90mm以上が指定の箇所（開口まわり・出隅・入隅など）は、標準施工に従ってください。

※出隅部などに関して、胴縁幅が90mmでは納まらない場合は、幅を大きくするなどして躯体に確実に留め付け、モエンが確実に留め付けられるよう注意してください。

② 留付ビス

シネジック株式会社製 『パネリードⅡ⁺（プラス）』

●断熱材の厚みにより下表の指定ビスを使用してください。

断熱材の厚み	パネリードⅡ ⁺ （プラス）
30mm以下	φ6.0mm×100mm（P6×100Ⅱ ⁺ ）
40mm以下	φ6.0mm×110mm（P6×110Ⅱ ⁺ ）
50mm以下	φ6.0mm×120mm（P6×120Ⅱ ⁺ ）

※上記ビス長さは胴縁厚が18mmの場合です。胴縁厚がこれを超える場合は、その分長いビスを使用してください。

お問い合わせ先 シネジック株式会社 TEL 022(351)7330

③ ビス留付方法および留付間隔

●モエンの施工法・胴縁部位により、下表の間隔で留め付けます。（P191～192の図参照）

※モエンの重量（気乾）は20kg/m²以下とします。

施工法	胴縁部位 および 下地躯体	ビス留付方法・間隔	該当サイディング
金具施工	補助桟部	横架材下地あり （土台・梁などへ留め付け）	EX 縦張り品
		横架材下地なし （間柱へ留め付け）	
	横 桟 部	（横架材または間柱へ留め付け）	
	断熱材部	（間柱へ留め付け）	
釘打ち施工	補助桟部 断熱材部	（横架材または間柱へ留め付け）	M W EX 縦張り品

（ ）内数値はメーターモジュールの場合

例

